

目指す姿

関西らしい成長シナリオが実現できている状態

関西がもつ強みやポテンシャルを活用して持続的な成長を目指すとともに、世界に対してプレゼンスを示す。

持続的な成長を目指すチャレンジングな取組の中で、多様な主体との関わりが生まれる。そこに、『人・モノ・投資・情報』が集まることで、社会の中で一連のサイクルが発生する。

そこでは、社会ニーズに合った産業構造、労働環境の中で、多様な人材が能力を発揮できている。

将来像実現のためのアプローチ

新しく始める取組

- 世の中に求められていて、成功の見込みがある新しい取組を産業化(SDGs・GX等)
- 新規事業展開

既存リソースを活用した取組

- ポテンシャルや強みを活かした産業化
- 既存事業のアップデート(環境への最適化)

人材

- ダイバーシティ経営の推進
- 健康経営の推進(従業員の心身の健康増進により、結果的に業績向上や株価向上につながる)
- DXによる経営改革の推進

スタートアップの創出

- イノベーションを創出する産業クラスターの形成

試作品の製作や実証実験

競争力強化

- 生産性の向上

研究成果のオープン化(オープンイノベーション)

パートナーシップの構築

企業内における推進体制の構築

労働環境の整備

デジタル技術の活用

アントレプレナーシップ教育

繰り返し挑戦できる環境づくり

求心力のある旗振り役を巻き込む

企業立地・誘致

技術起点のビジネス(技術オリエンテッド)

課題解決型ビジネス

ブランディング

新市場開拓(海外展開)

高付加価値化

DXの推進

基礎研究等の非競争領域のシェア

産学官連携

人材交流の促進

組織活性化・エンゲージメント

従業員の意識・行動改革

ワークライフバランスの尊重

スキルアップ研修制度の整備

雇用労働体制の多様化

経営者が経営陣に対して、経営方針をコミットメントする

ITのスキルアップの機会の提供

ICT、IoT化の促進

= 万博を契機に、加速したり劇的な進化が起きる可能性がある取組